

JAPPS NEWS 20

日本建築写真家協会 JAPAN ARCHITECTURAL PHOTOGRAPHERS SOCIETY 会報

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-7MARUZENビル1F (有) 東京カラー工芸社内
TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-MAIL japs@tclab.co.jp WEB <http://www.japs.jp/>

創立15周年に向け協会の活動に参加しよう

会長 小川泰祐

会員諸氏におかれましても益々ご健勝の事と思います。日本建築写真家協会は2015年（平成27年）創立15周年を迎えます。建築写真家集団として最初の集いを開いてからは40数年を数えますが、若い写真家も交え新たに協会を立ち上げてから、早くも15歳になろうとしています。創立5周年では「銀座ジャック」の写真展を開催し、10周年では「日本・風土と建築」の作品集を刊行しました。

そして15周年です。大阪通天閣の足元の街「新世界」を撮影することが決まりました。東京銀座の街並みに対し、人間臭い大阪の独特の街を取り上げます。詳細は現在検討中ですが、最終的な発表は写真展、作品集刊行を考えています。この件追って、詳細を報告させていただきます。

ここ1～2年、15周年に向け、全国の会員からの新たな企画案を心待ちしていました。しかし、誠に残念ながら大阪の会員からの「新世界」以外の提案がありませんでした。私は、さまざまな場で、15周年企画の提案を呼び掛けていましたが、本当に残念です。デジタル化に伴う作業料の増加と低価格競争のあおりで、協会の運営、活動までは気が回らないという事でしょうか。会員の意識変化を大いに期待するところです。協会の活動に、より前向きな参加を希望しています。著作権セミナー、研究会、勉強会など個人の懸案事項を元に、企画から立ちあげる気概を見せてください。協会の活動に前向きの意識さえあれば、会員同士の情報交換などにより、日本建築写真家協会もより活性化される事と思います。最近の撮影料及び写真使用料などの単価は大幅な減額傾向にあります。この切実な問題ひとつ取っても、協会会員以外の写真家とも連帯意識を持って、建築写真家の力を結集したく思います。今年の総会〈6月27日（金）〉は活発な意見交換の場にしようではありませんか。

会員の情報、皆様のご意見など事務局にお寄せください。宜しくお願い致します。

・第11回 総会・懇親会のお知らせ

日時：2014年6月27日（金） 18：00～20：00

場所：ホテルJALシティ四谷 東京都新宿区四谷3-14-1 電話03-5360-2580

・第11期（2014年4月～2015年3月）年会費振込みのお願い

今期の年会費の振込みをお願い致します。（年会費 1万円）

詳細は同封の案内、もしくはホームページの「事務局だより」をご確認下さい。

「光と空間・建築の美」パート10 新潟展開催

全国の富士フォトサロンで隔年開催されている、日本建築写真家協会写真展「光と空間・建築の美」が昨年第10回目として、東京、大阪の富士フォトサロンで巡回展示された。



このパート10の写真展を新潟在住の佐武浩一会員の尽力で、前回同様、新潟市立美術館に於いて2013年11月26日から12月2日の期間で開催された。

会期中、建築関係者、学生など昨年を上回る来場者があった。また作品の会場展示、搬出等も佐武事務所のスタッフが担当した。

写真展に併せて、建築家新居千秋氏（株新居千秋都市建築設計）の講演会が、2013年グッドデザイン賞を受賞した氏の設計による、新潟市江南区文化会館大ホールで行われた。新居氏は事務所スタッフ2名を伴って新潟市に駆けつけた。

新居事務所個々の作品の建築設計プロセス、設計中の建物の近隣住民との対話、設計主旨に沿った役所との対応など大変興味深い話が続いた。最後に質疑応答があり、予定の時間も過ぎ、最終の新幹線で帰京する新居氏も、カバンを持ちながら質問に答えるひと幕もあった。

建築学科を抱える長岡市から大勢の学生等160名の参加者があり、地域的なハンデを考えると、この双方の企画は大成功であった。

尚、当日の新居千秋氏の新潟駅~会場の送迎、講演会司会と孤軍奮闘の佐武会員の姿があった。

この場を借りて、佐武会員には心より感謝申し上げる。この写真展、講演会には東京より高井潔代表、小川泰祐会長が出席した。（撮影・記／小川泰祐）



JAPS members column

川村 剛弘 東京都

「写真家業報酬の行く末」

先日ある不動産仲介会社さんにてセミナーを行った際、普段その会社が物件写真を依頼しているカメラマン二人も生徒として参加されていた。セミナーの題材として、普段撮影している物件写真を参加者全員に持参して頂いたのですが、驚くことにその自称カメラマン二人の写真が最も酷い。営業マンの中には撮影技術は乏しいものの物件に対する思いが伝わってくる写真も少なくありませんでした。仲介業者の場合、専属専任媒介契約を締結出来れば担当会社が報酬を受け取る可能性は高いが、多くの場合、一般媒介契約や数社指定の媒介契約を結んでいるため、他社で成約された場合の報酬はゼロ、いやマイナスとなります。先程の自称カメラマン達の報酬はカット500円、1物件20cutが規定だそうです。桁が2つ違うから仕方がない...と無視は出来ず、このような自称カメラマンが横行することで、一般的な企業の撮影費に対する見方は下方修正されていることは周知の通りです。大手ゼネコンが一律金額を設定することが増えてきたこともその兆候です。

ではどうすれば良いか。本来我々の撮影報酬は、クライアントが見込む収益に対する経費としての報酬算出が理想です。その理想に近付けるためのガイドラインの策定及び協会でのセミナーやダイアログなどを定期的で開催し、非会員との実質的な差別化が図れたら素晴らしいですね。

島田 秀一 東京都

近年、急速に進化するデジタル化の波、写真の世界も例外にもれず、おかげで?クライアントより無茶な注文を受けることも多々ある昨今です。そんな中で、ちょっとしたご縁で、ある教師の方から、職業のことについて話をしてほしいと依頼を受けたことがありました。対象となるのは、小学校高学年の子供たちで、どのような話をするか悩みましたが、今の子供たちはデジタルカメラばかりでフィルム使用のカメラを見たことがないと、いう子が多くそれならばと、私も最近使っていなかったビューカメラを持ち出して、このカメラで実演しながら私の体験を踏まえての職業についてを、語らせていただきました。

話し終わった後、初めて見る大型カメラに興味津々で、いろいろと質問をいただきました。これは、私にとっても、大変勉強になり、またこのようなことも、きちんと伝えていくことも必要なのかなと感じ、また機会があれば、話してみたいと思いました。

藤戸 充 東京都

「私のひとりごと」

大正15年、昭和元年の母が、田舎地方新聞社、俳句2013年度年間大賞を受賞しました。「お会いしたことのない人が、お話を伺いたいと尋ねて来られ〜エライコト」と。彼女は、俳句のような写真を写します。

フジの使い捨てカメラで撮影し、半切にプリントしたファイルを帰省の折に見せられます。

「俳句写真科」は、写したいアプローチポイントを外さず、すこぶるいい写真「いと、おかし」。

麦わら帽子の幼な兄弟、河土手下からの、空には夏の終わりを告げる群なるアキアカネ俳句ネタ探し、たまたま出くわした俳句写真らしい。父は、彼女より写真が好きはず「駄目です。いけません。」

町では、人気ものの父「邦ちゃん」（介護病院寝たきり療養中。見てやる年齢になり候）人よろしいのか、八方美人な写真「あっちも、こっちも枠に納めたい」ようで〜いけません。私は父の血を少し多く受け継いだようです・・・。

さて、デジタル成せる技の出来事 撮影箇所決定での、クライアントから前撮影者のように沢山撮った中よりセレクトカット納品のリクエスト 前撮影?内容確認して驚き 1アングルを左右センター高さまでの様、ご自身決めかねているかのようなアングル アプローチポイント疑うそのカット数に啞然。デジタルの成せる技か!そのスタイルはお断りさせて頂きましたが、八方美人邦ちゃんの「あっちも、こっちも」より、写したいポイント有無。父よりイケマセン。前撮影者様へフィルムは大切に〜

根本 健太郎 神奈川県

私個人としては「デジタル」はチャンスだと思っています。デジタルになって1枚の重みが軽くなったと言う方が居ますがそれはカメラマン次第だと思います。デジタルでも1枚1枚丁寧に撮影は行えますし、機動性が増した事により良い光線の時間帯でより多くのカットを収める事が出来る様になりました。残念ですがクライアントから「あのカメラマンはフィルムだからあまり写真撮ってくれなくて…」という話を聞く事があるのは事実です。撮影後、画像処理時間が増えたというのもワークフローを改善すればある程度解決する事であり、寧ろ表現の自由度が増したのは良い事ではないでしょうか?今はiPhoneで地図上にその日の太陽の位置、高度を示すアプリがある時代です。カメラマンはいつの時代も先端を目指すものではないでしょうか?

などという事は置いておきまして、昨年入会させて頂きました今年30歳の若輩です。9ヶ月の息子と妻とネコの為に一生懸命建築写真家として働く所存でございます。いきなり世話人会にも入れて頂き若干戸惑っていますがJAPSニュースを担当させて頂き更にどうして良いのか困っています。先輩方のお力をお借りしたいと思います。今回から名前を変えさせて頂きました旧会員日より、遠慮なくどしどしご寄稿ください。また、出版・展示予定などございましたらご連絡くださいます様願います。ご意見・ご要望・ご感想もお待ちしております。何卒宜しくお願い申し上げます。

information

■ 新入会員 ■

岡沢晴也（ゲンダイプロ）

■ 連絡先変更 ■

平井広行（住所・電話・FAX）

芦 直人（メールアドレス）

住所・メールアドレスなど変更ありましたら必ず事務局までご連絡ください。



日本建築写真家協会 世話人会報告

2013年11月15日（渋谷区地域交流センター会議室）

出席者 小川泰祐・小野吉彦・小室貴義・篠澤裕・高井潔・堀内広治・三輪晃士・山田新治郎
議 題

- ・15周年企画を早急に進める。
- ・2014年の予定検討。15周年企画の撮影期間を検討。
- ・建築写真展新潟展について小川、高井の2名参加する。
- ・新潟展の経費は佐武会員の負担になっているので、どの程度協会で負担可能か検討する。
- ・大手ゼネコンとの契約書な内容に不満も契約せざるを得ない。
- ・ニッコールクラブ表彰式に今年初めて招待された。
- ・会員増加に向け多くの写真家に声をかける。

2014年1月17日（渋谷区地域交流センター会議室）

出席者 大橋富夫・小川泰祐・上岡弘和・津布久智・篠澤裕・高井潔・中塚雅晴・堀内広治・丸山泰・三輪晃士
議 題

- ・新年会の前に打合せ会議を開く。
- ・11月24日～25日 新潟市美術館開催の建築写真展に高井、小川会員出席。
- ・1月18日の大阪支部の新年会に、小川、堀内会員、事務局より水谷氏3名が出席予定。

2014年1月31日（渋谷区地域交流センター会議室）

出席者 小川泰祐・篠澤裕・高井潔・堀内広治・丸山泰・芥子富吉（大阪）
議 題

- ・15周年企画（案）として芥子会員より「大阪新世界」の提案があった。参考写真を持参した。
- ・街並みと人間の生活を撮影する。写真展、作品集刊行しての発表を検討。
- ・撮影の際の問題点が相当多い。
- ・「新世界」側の受け入れの様子などを検討する。銀座ジャックの時とは違う。
- ・2014年～15年にかけてのスケジュールを検討する。

2014年3月14日（渋谷区地域交流センター会議室）

出席者 大橋富夫・小川泰祐・小野吉彦・上岡弘和・高井潔・中塚雅晴・根本健太郎・平井広行・堀内広治・丸山泰・山崎望希
議 題

- ・15周年企画は「大阪新世界」に決定
- ・企画書は関西での作成を依頼する。
- ・写真展、作品集刊行の両輪を前提として進める。
- ・撮影前に村田会員と撮影の段取りなどを相談、検討する。
- ・至急、当協会の腕章、シールなど作成の要あり。
- ・撮影開始から発表までの日程をより詳細に検討する。
- ・関西の会員のより積極的な参加と全国の会員に呼び掛ける。
- ・次回会議で、実行委員体制を作る。



JAPSニュースがリニューアルしました

今号より、JAPSニュース -日本建築写真家協会会報- 紙面をリニューアルいたしました。内容につきましても逐次改良して行きます。皆様のご意見・ご要望、掲載依頼などを日本建築写真家協会事務局までご連絡をお願いします。また、コラムにつきましても投稿をお待ちしております。（編集担当 根本）